
“NetFiler”
NF-R104GA3W(H)DR
NAS システム復旧マニュアル



コアマイクロシステムズ株式会社
日本ストレージアプライアンス事業部

Revision1.0

はじめに

このマニュアルでご説明するシステム復旧は HDD の内容を工場出荷時の状態に復旧するものです。

この作業により **HDD 内のデータは全て初期化されます。**

事前に必ずデータのバックアップをとっておいてください。

1 . 準備機材

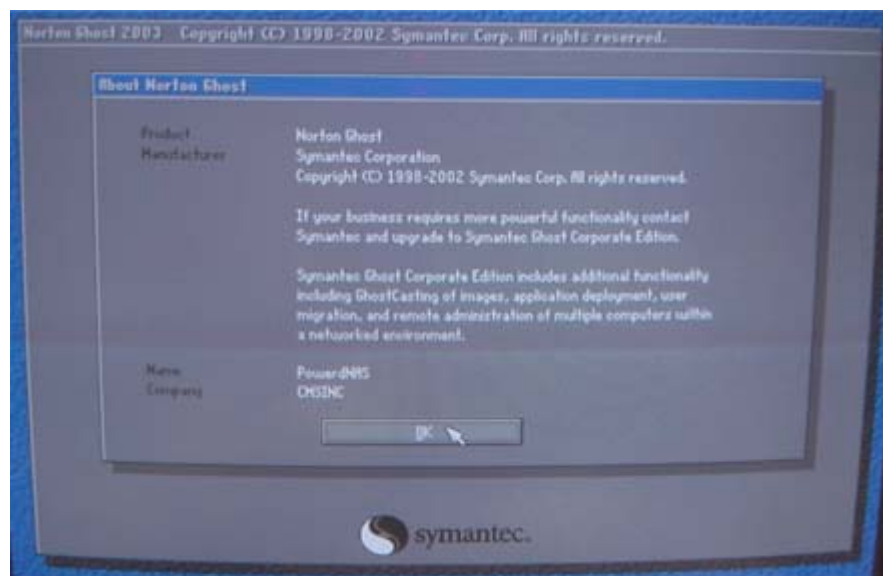
1	USB DVD ドライブ (BIOS 起動可能なもの)
2	D-SUB15PIN 装備の VGA モニター
3	PS/2 マウス
4	PS/2 キーボード

2 . NAS システム復旧手順

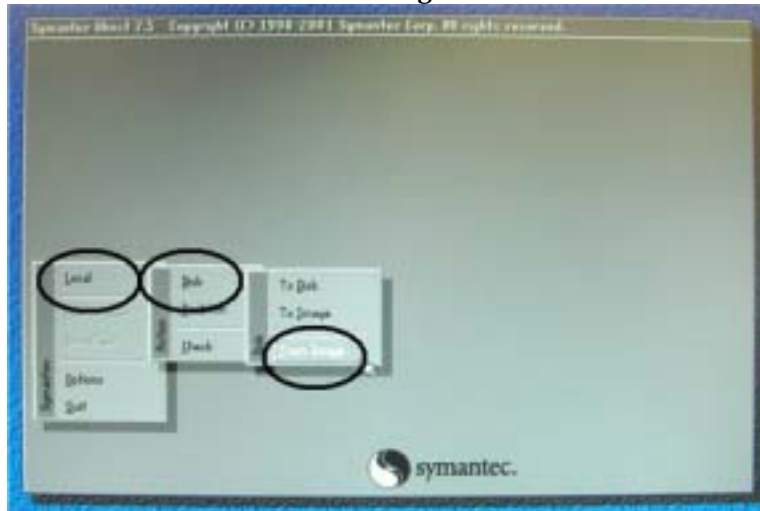
- ・ NF-R104GA3W 本体に
 - ・ USB DVD ドライブ
 - ・ モニター
 - ・ PS/2 マウス
 - ・ PS/2 キーボード を接続します。
- ・ DVD ドライブに「OS 復旧用 DVD」を入れます。
(本体と CD のシリアル番号は必ず同一のものをご使用下さい。)
- ・ 本体のドライブベイ、左から 3 番目に 1 台目の HDD を装着し、本体の電源を入れます。
他のドライブベイには HDD を装着しないで下さい。



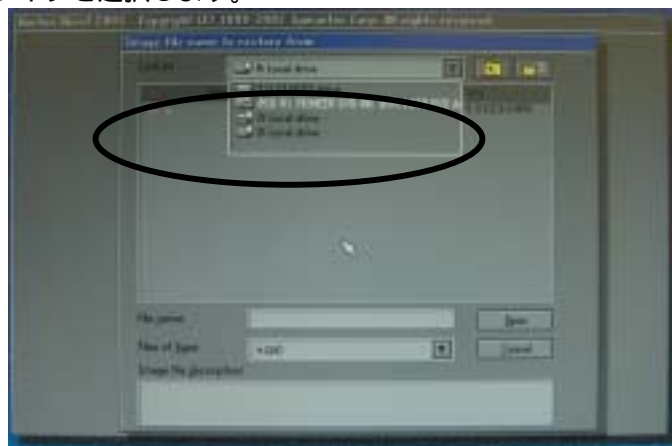
- ・ 画面に BIOS 表示等された後、下記の画面が表示されたら「OK」を押します。



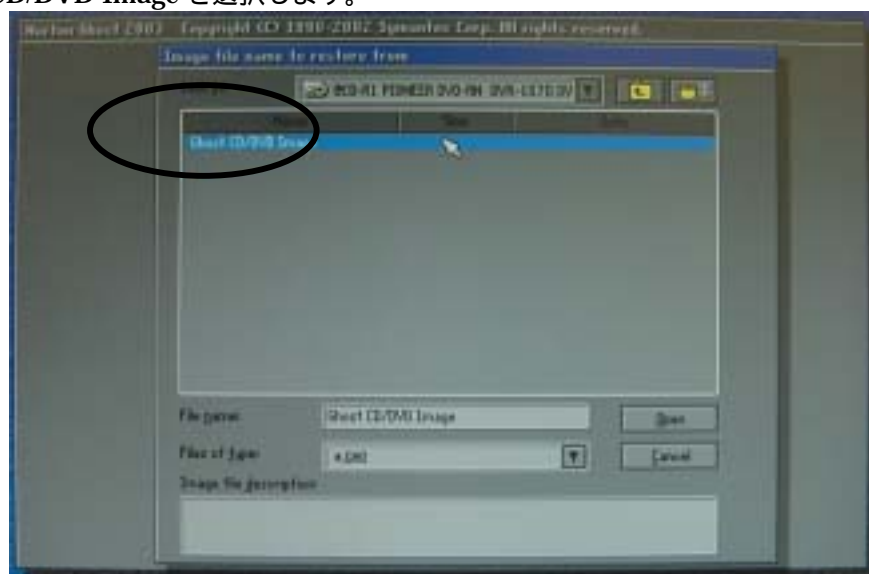
- ・ 次の画面で「Local」 - 「Disk」 - 「From Image」を選択します。



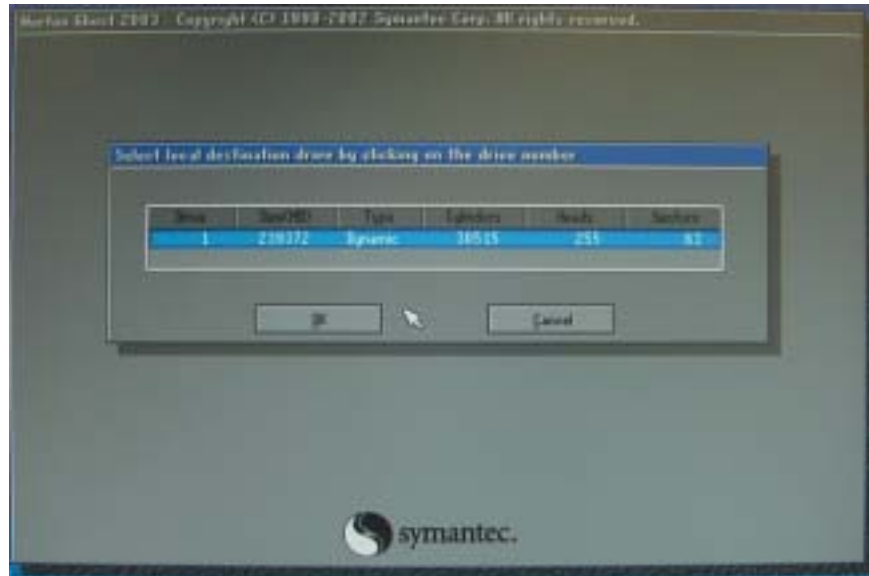
- ・ 「Image file name to restore from」の画面で選択出来るドライブから接続したUSB DVDドライブを選択します。



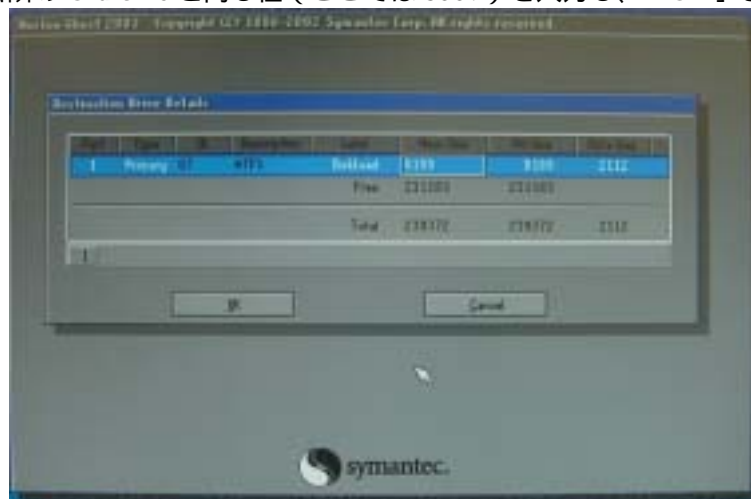
- ・ Ghost CD/DVD Image を選択します。



- ・ リストアするドライブの情報が表示されたら、「OK」を押します。



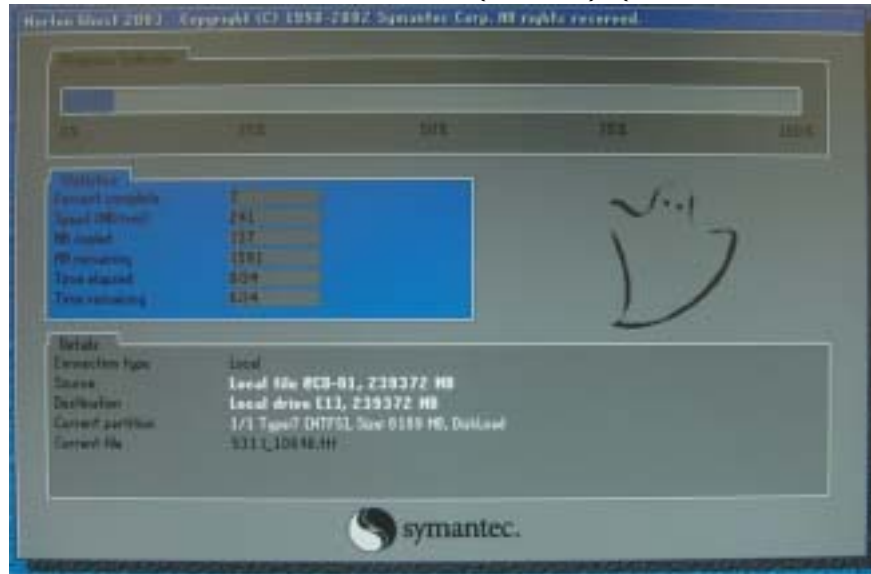
- ・ 「Destination Drive Details」で「New Size」を選択します。
- ・ サイズに、右隣の Old Size と同じ値（ここでは 8997）を入力し、「OK」を押します。



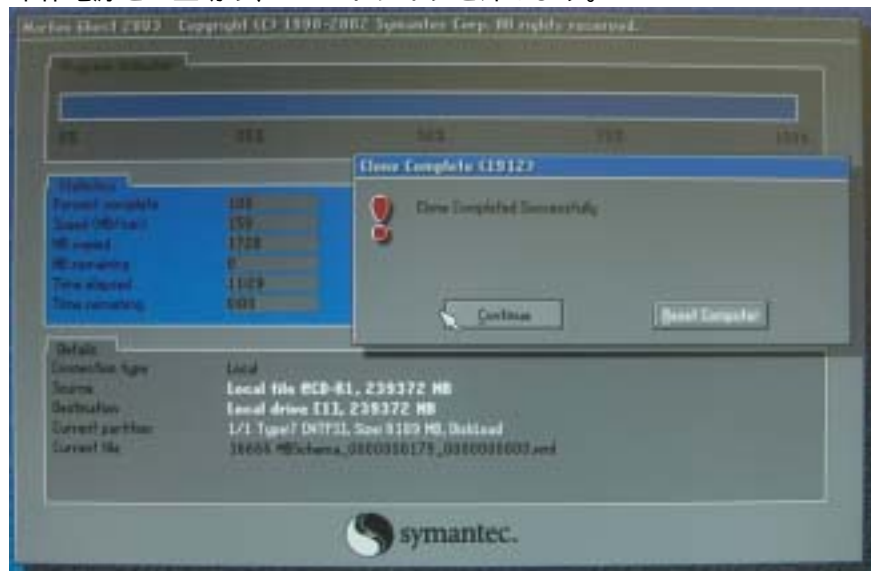
- ・ リストアを実行し、上書きする旨のメッセージが表示されたら、「Yes」を押します。



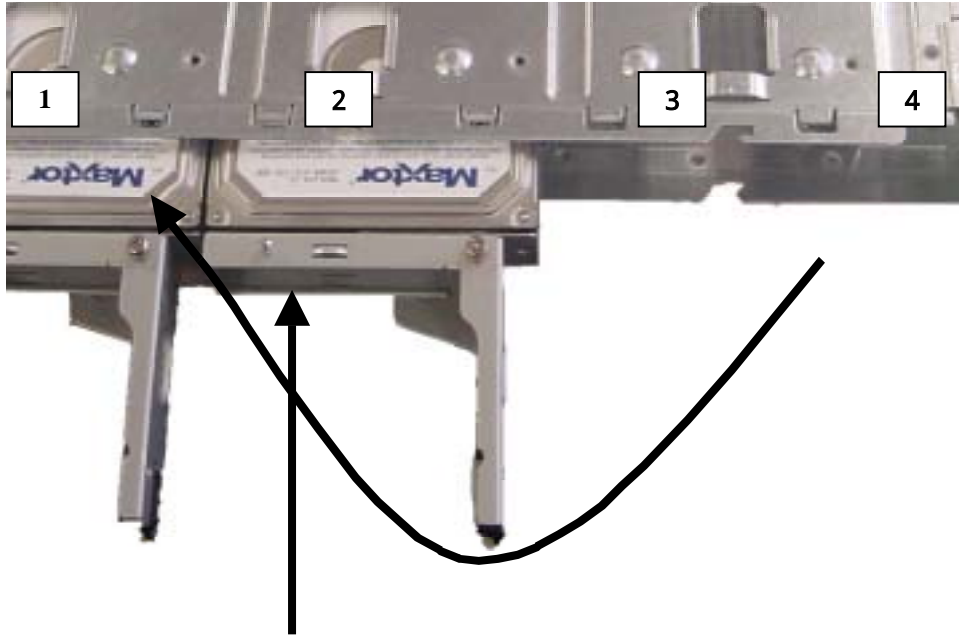
- ・リストアが始まりますのでしばらく待ちます。(10 数分) (%が上部に表示されます。)



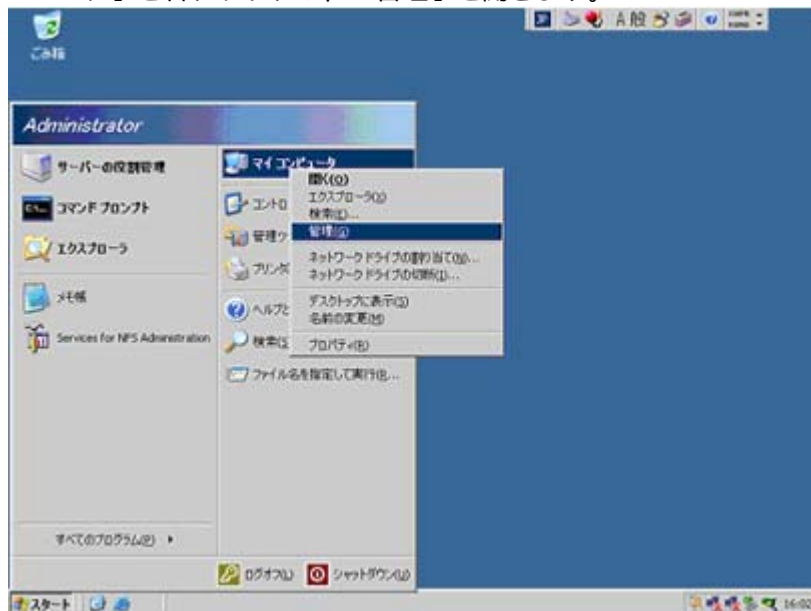
- ・終了後、本体電源を一旦切り、DVD ドライブを外します。



- ・ [3] に入っていた HDD を [1] に移し、 [2] に、残り 3 台のうちの 1 台の HDD を入れます。



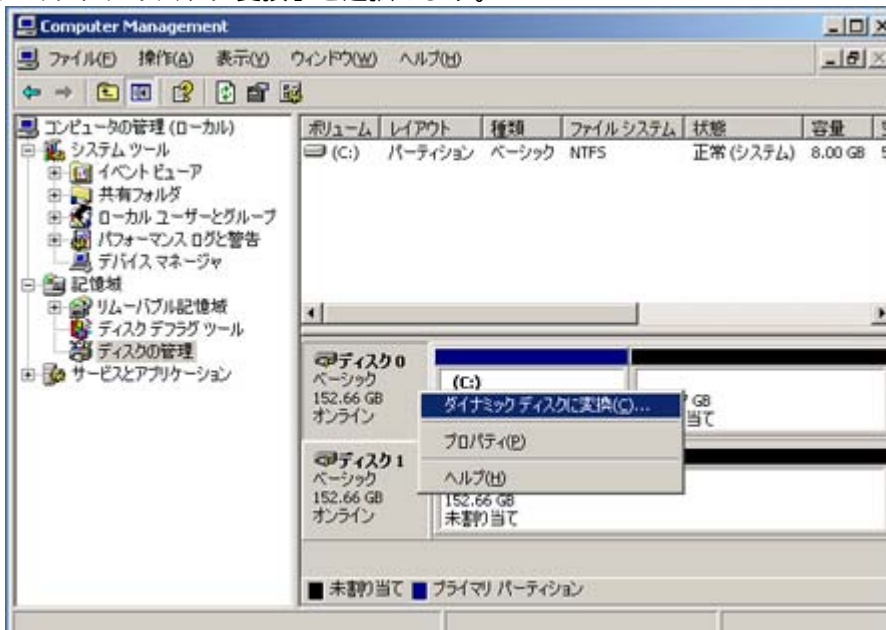
- ・ 本体の電源を入れ、WINDOWS を起動させます。
「マイ コンピュータ」を右クリックし、「管理」を開きます。



- ・左ツリーから「ディスクの管理」を選択します。

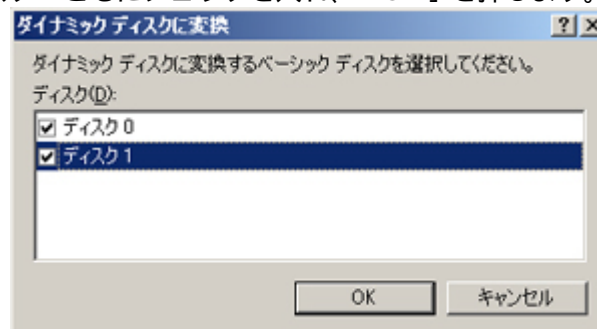


- ・「ディスク 0」を右クリック、
「ダイナミックディスクに変換」を選択します。

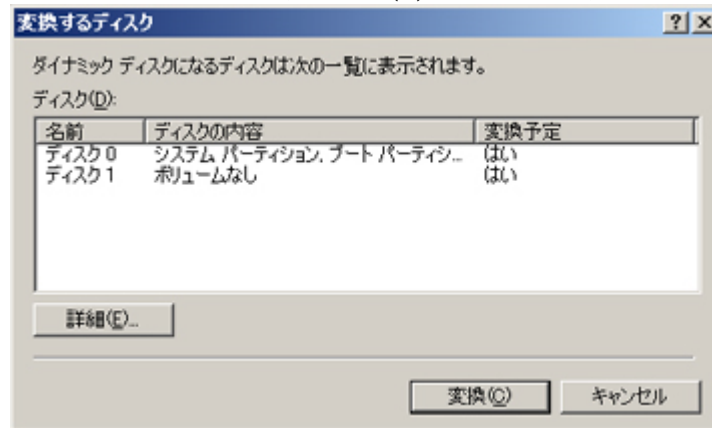


(ディスク 1 にパーティションが作成されている時は消去して下さい。)

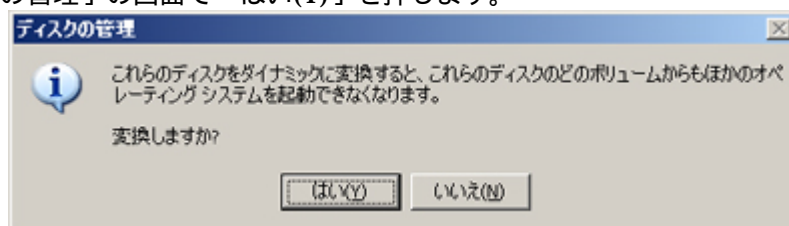
- ・ディスク 0、ディスク 1 とともにチェックを入れ、「OK」を押します。



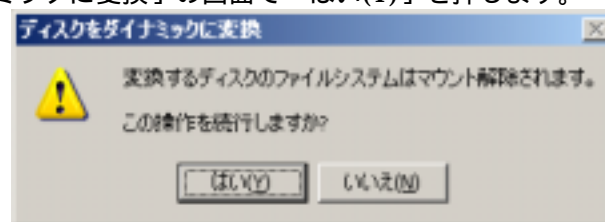
- ・「変換するディスク」の画面を確認し、「変換(C)」を押します。



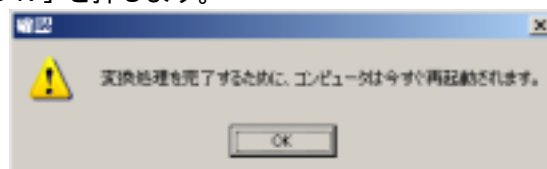
- ・「ディスクの管理」の画面で「はい(Y)」を押します。



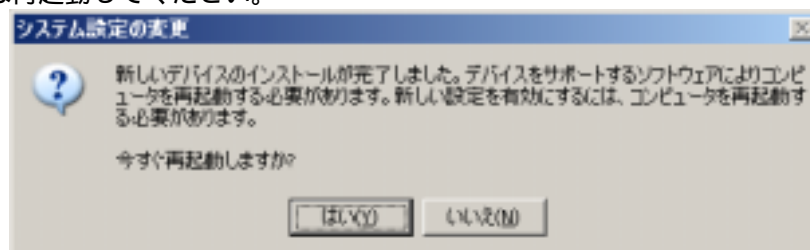
- ・「ディスクダイナミックに変換」の画面で「はい(Y)」を押します。



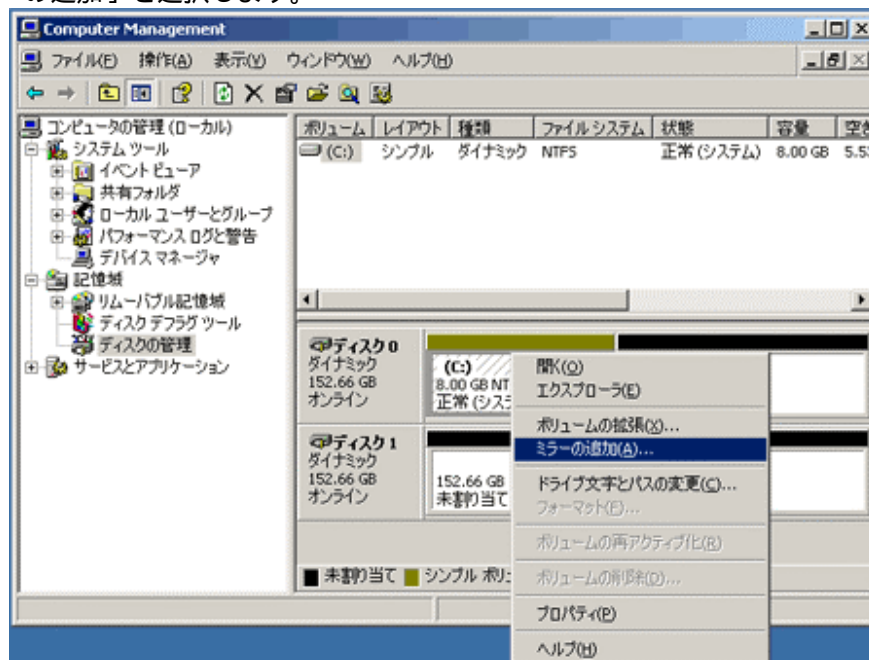
- ・「確認」の画面で「OK」を押します。



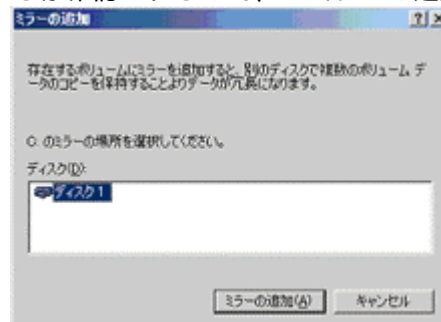
- * 再起動した後に下記の画面が出現することがあります。
この場合は再起動してください。



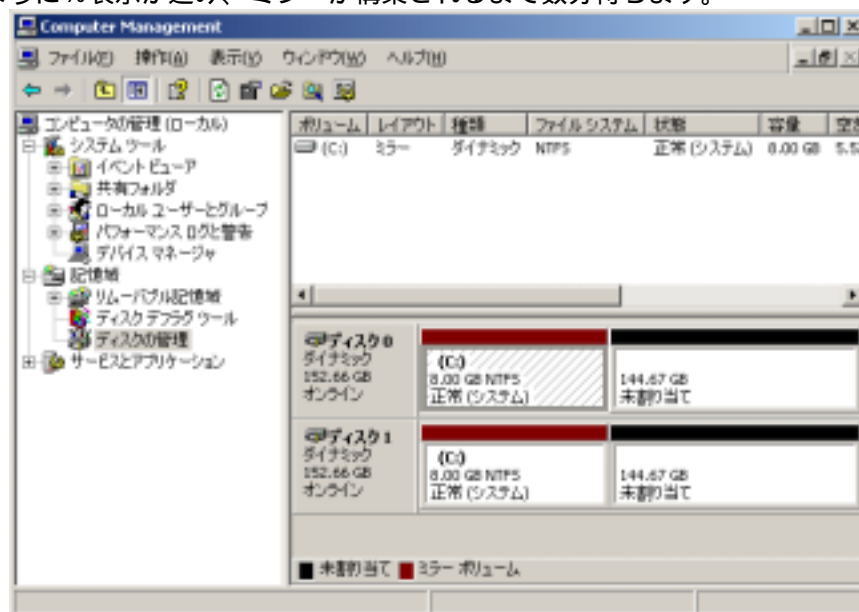
- 再起動後、ディスクの管理から(C:)のディスクをクリックし、出てきたメニューから「ミラーの追加」を選択します。



- どのディスクとミラーにするか確認されるので、「ミラーの追加」ボタンを押します。

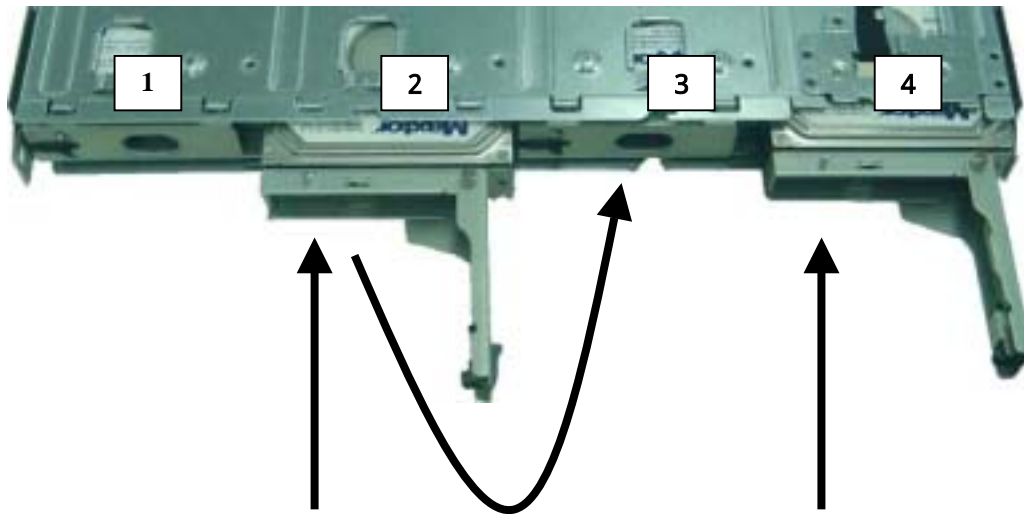


- 下図のように%表示が進み、ミラーが構築されるまで数分待ちます。



- 完了後、一旦 Windows を終了させ、本体の電源を切ります。

- ・ [2] に入れてある HDD を、[3] に移動させます。
空いた [2] と [4] に残りの HDD 2 台を入れる。



[2] ~ [3] へ

- ・ 本体の電源を入れて Windows を起動し、「ディスクの管理」画面を表示させます。
追加したディスクがベーシックの場合は、さきほどの手順でダイナミックに変換してください。

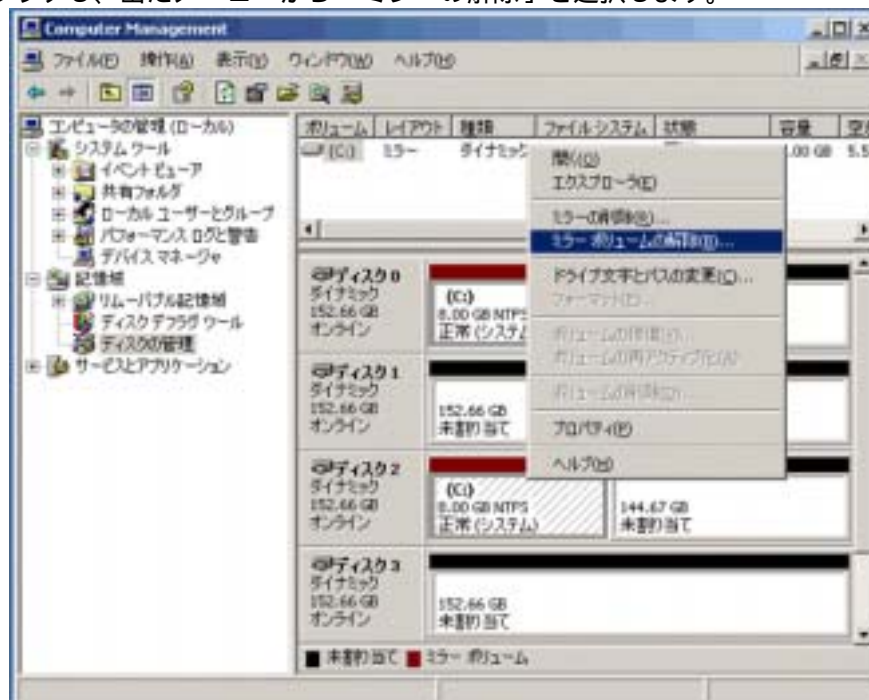


このとき、2 から 3 へ入れ替えた HDD がディスク 2 になっていない場合、Windows を起動させたまま、4 (右端) の HDD を抜いてください。

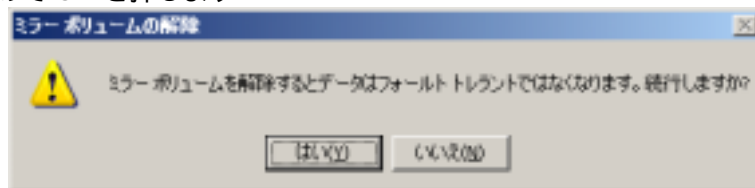
「ディスクの管理」から HDD が減ったらそのまま Windows を再起動します。

3 に入れた HDD が上図のようにディスク 2 になったら、右端の 4 の HDD を挿入します。

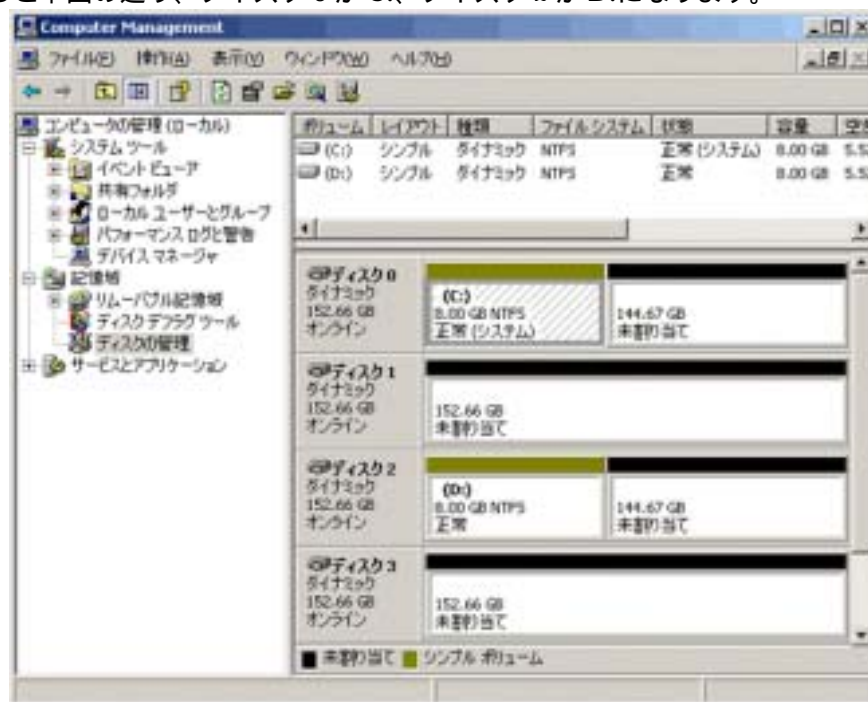
- (先ほどミラー構築したディスク 0 とディスク 2 の、ミラーを一旦解除します。)
- ・ C:をクリックし、出たメニューから「ミラーの解除」を選択します。



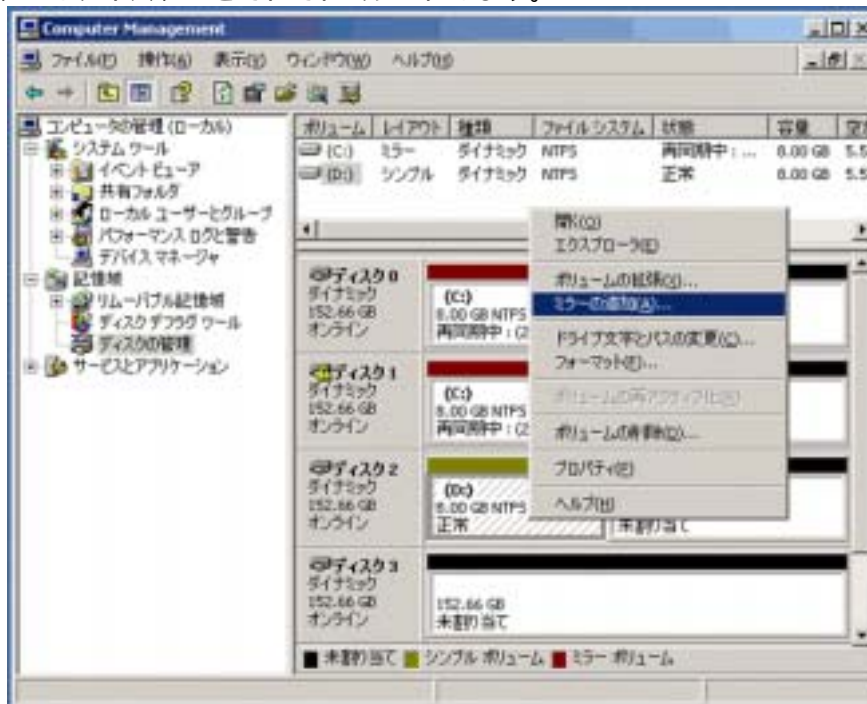
- ・ 確認画面が出るので OK を押します



- ・ 解除すると下図の通り、ディスク 0 が C:、ディスク 2 が D:になります。



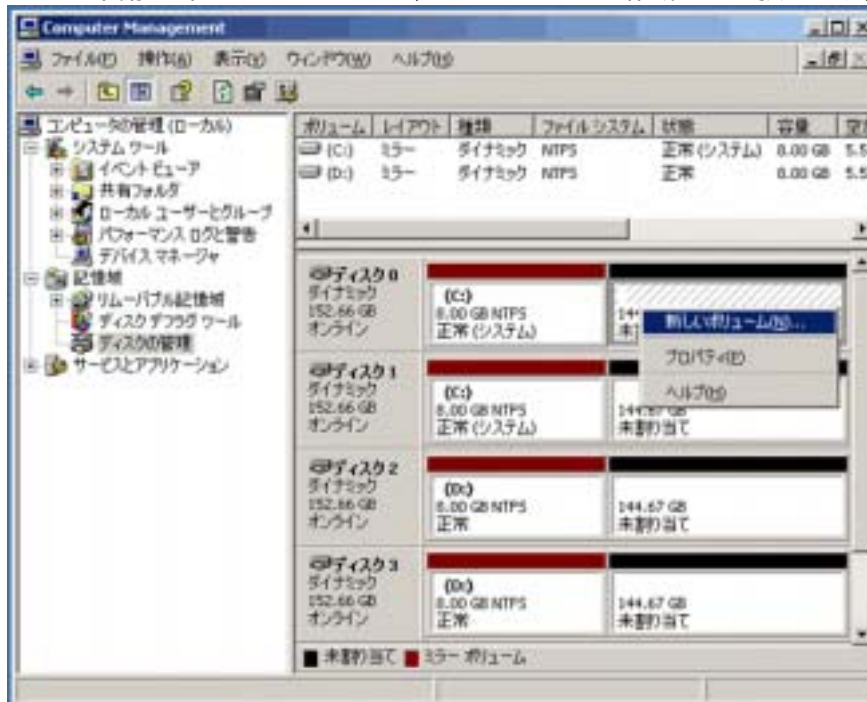
- ・先程の手順で、ディスク 0 とディスク 1 をミラーに、ディスク 2 とディスク 3 をそれぞれミラーにします。



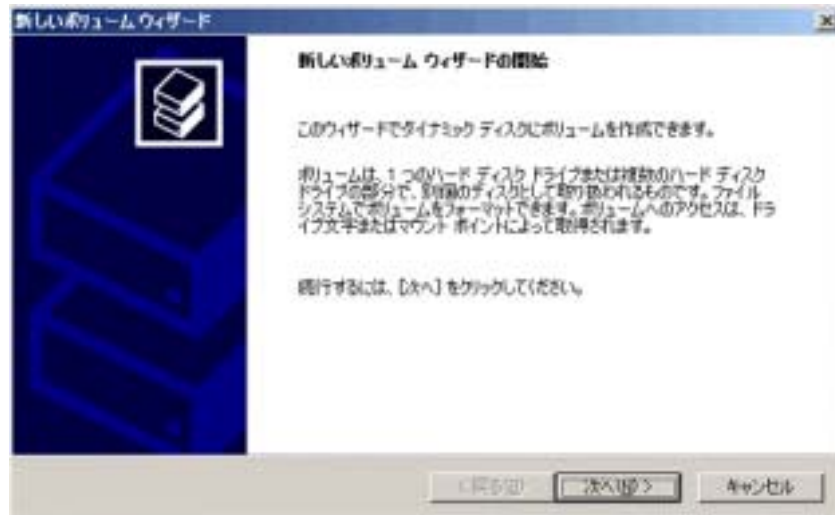
- ・正常に終了し、C:のミラーとD:のミラーができているのを確認します。



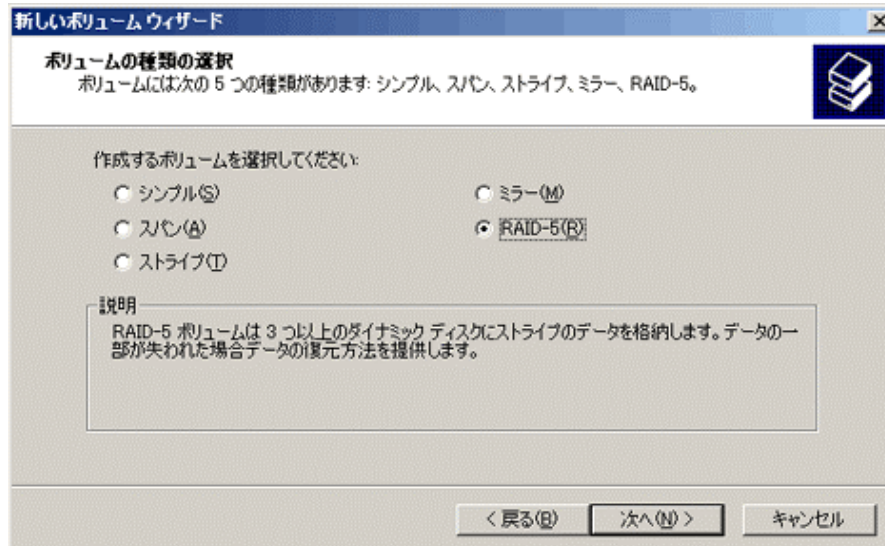
- ・各ディスクの「未割り当て」をクリックし、「ボリュームの作成」を選択します。



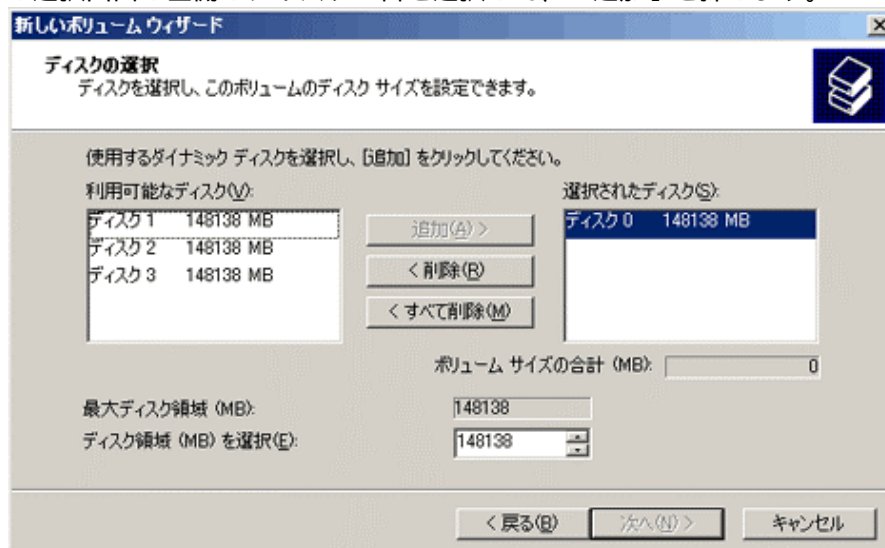
- ・「次へ」を押します。



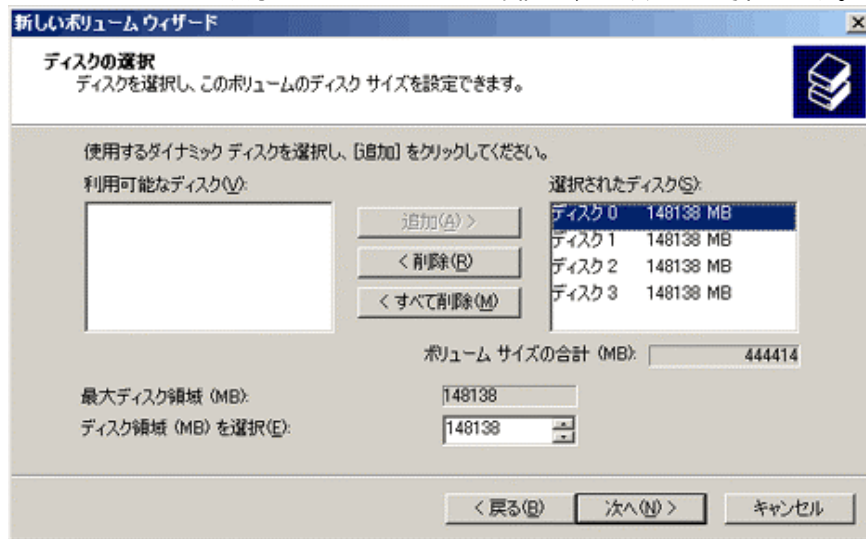
- ・「ボリュームの作成ウィザード」画面で「RAID-5 ボリューム」をチェックし、「次へ」を押します。



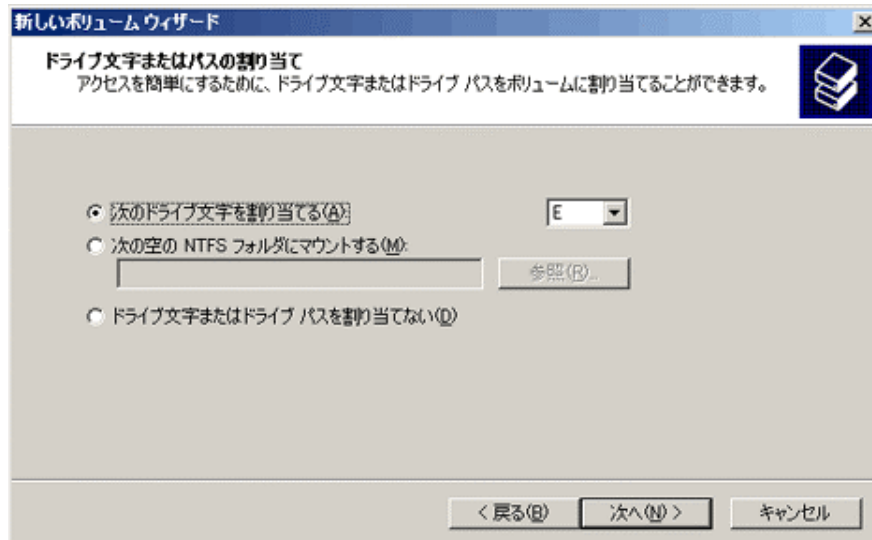
- ・ディスクの選択画面の左側のディスク 3 台を選択して、「追加」を押します。



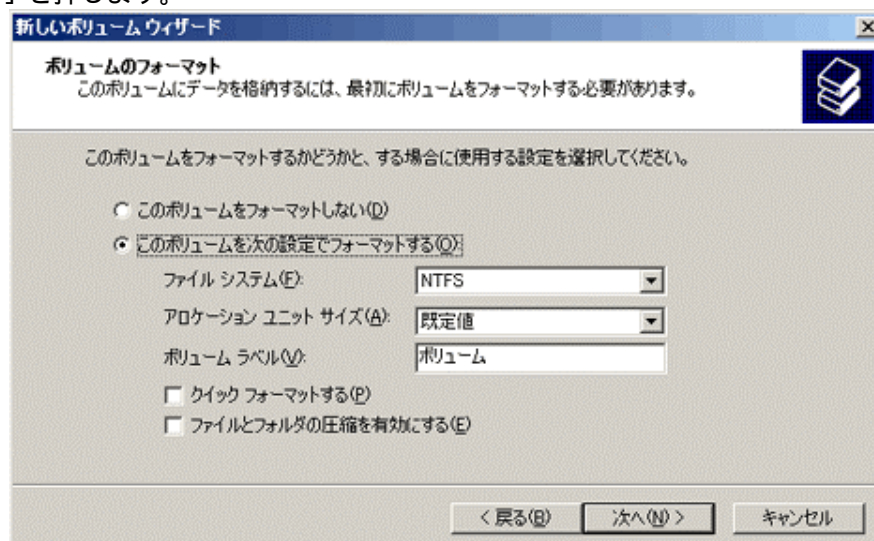
- ・ 右側にすべてのディスクが表示されていることを確認し、「次へ」を押します。



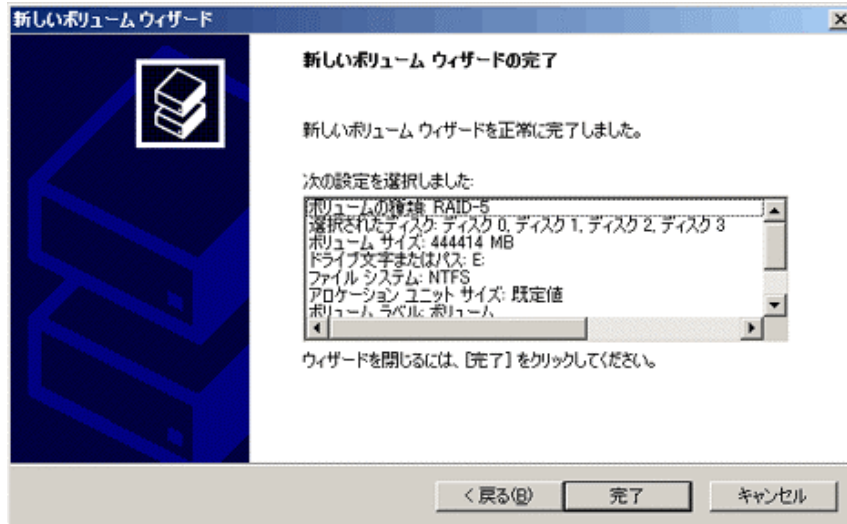
- ・ ドライブ文字の割り当てで「E:」が出ていることを確認し、「次へ」を押します。



- ・ 「このボリュームを以下の設定でフォーマットする」にチェックを入れ、「次へ」を押します。



- ・ 確認画面が表示されたら、「完了」を押します。



- ・ ディスクの管理画面が「フォーマット中」表示に変わり、



- ・「再同期中**%」の表示になり、RAID5 構築が始ります。（数時間かかります）



フォーマット方法で「クイックフォーマットをする」にチェックを入れた場合と入れない場合フォーマットの時間が大幅に変わります。



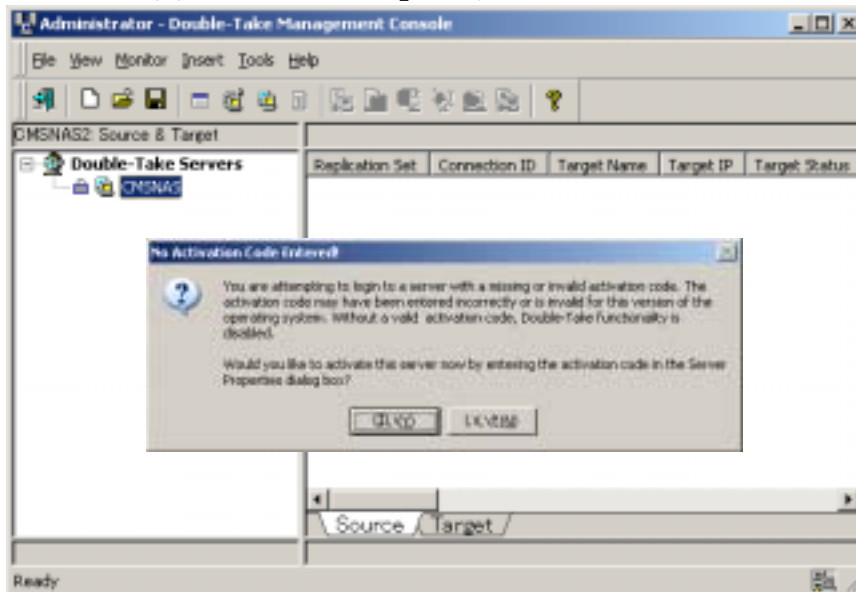
- ・表示が「正常」になったら、構築完了です。

この後は、「コンピュータの管理」ウィンドウを閉じ、Double-Take の Activation Code の入力を行って下さい。

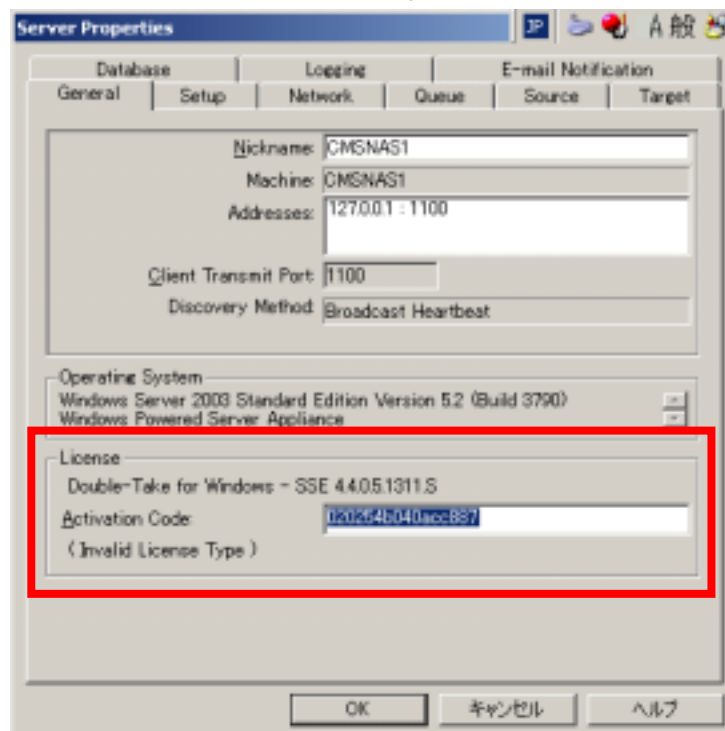
3 . Activation Code の入力

Double-Take をご使用の際には、まず Activation Code の入力が必要になります。
下記の要領で、入力を行ってください。

- ・ [Start] - [すべてのプログラム] - [Double-Take] - [Management Console] より、Management Console を起動します。
- ・ 左ツリーの Source または Target をダブルクリックします。
以下のようなメッセージが出ますので、「はい」を選択します。



- ・ 「Server Properties」が表示されますので、Activation Code を入力し、OK をクリックしてください。
* Activation Code は、Double-Take のパッケージをご覧ください。



以上